

短葉性ネギの育成

ネギ生産の省力・低コスト化と新たな消費ニーズの開拓のために

野菜茶業研究所 葉根菜研究部

ユリ科育種研究室 若生忠幸・小島昭夫・

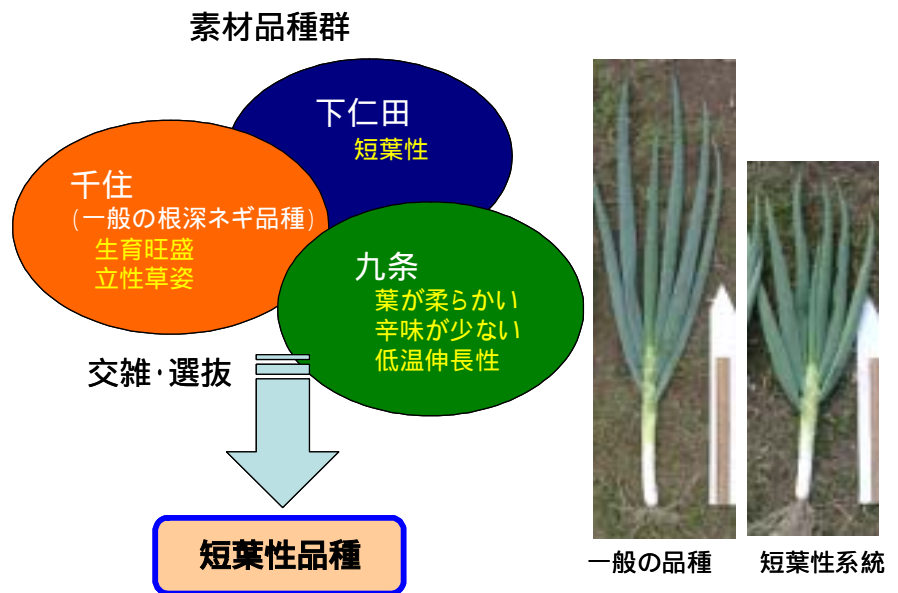
塚崎光・山下謙一郎

連絡先 e-mail : twako@affrc.go.jp、TEL : 059-268-4652

軟白部の長さ 20cm 程度で収穫する早太りの短葉性品種を開発することにより、従来の根深ネギ品種と比べ栽培期間の短縮、土寄せ回数の減少、葉切り調製の省力による生産コストの低減が可能となる。同時に、コンパクトで使いやすく、緑葉部も柔らかくおいしく食べられる新しいタイプのネギとして消費ニーズを掘り起こす。

< 短葉性ネギの育成 >

根深ネギに用いられる‘千住’に加え、葉の短い‘下仁田’、葉が柔らかく、辛味の少ない‘九条’を素材として交配・選抜を重ね、現在の根深ネギより太りが早く栽培期間を短縮でき、土寄せ作業等を省力化できる品種を育成中。



< 緑葉もおいしいネギへ >

‘下仁田’や‘千住’は辛味が強く、緑葉が硬いため生食には向かない。育成中の短葉性ネギは、葉ネギとして用いられる‘九条’のように辛味が少なく柔らかい、軟白部も緑葉も生でおいしく食べられるものを目指している。

ピルビン酸生成量

($\mu\text{g/ml}$)

